

平成22年度 決算報告書

国立大学法人 京都工芸繊維大学

(単位:百万円)

区 分	予 算 額	決 算 額	差 額 (決算-予算)	備 考
収入				
運営費交付金	4,730	4,730	0	
施設整備費補助金	—	—	—	
船舶建造費補助金	—	—	—	
施設整備資金貸付金償還時補助金	—	—	—	
補助金等収入	207	405	198	(注1)
国立大学財務・経営センター施設費交付金	27	26	△ 1	(注2)
自己収入	2,343	2,375	32	
授業料、入学金及び検定料収入	2,284	2,307	23	(注3)
附属病院収入	—	—	—	
財産処分収入	—	—	—	
雑収入	59	68	9	(注4)
産学連携等研究収入及び寄附金収入等	727	717	△ 10	(注5)
引当金取崩	—	—	—	
長期借入金	—	—	—	
貸付回収金	—	—	—	
承継剰余金	—	—	—	
旧法人承継積立金	—	—	—	
目的積立金取崩	—	—	—	
計	8,034	8,253	219	
支出				
業務費	5,534	4,965	△ 569	(注6)
教育研究経費	5,534	4,965	△ 569	
診療経費	—	—	—	
一般管理費	1,539	1,541	2	(注7)
施設整備費	27	26	△ 1	(注8)
船舶建造費	—	—	—	
補助金等	207	407	200	(注9)
産学連携等研究経費及び寄附金事業費等	727	720	△ 7	(注10)
貸付金	—	—	—	
長期借入金償還金	—	—	—	
国立大学財務・経営センター施設費納付金	—	—	—	
計	8,034	7,659	△ 375	
収入-支出	0	594	594	

○予算と決算の差異について

- (注1) 補助金等収入については、平成22年度補正予算により設備整備費補助金が交付されたことや、昨年度まで受託事業であった地域産学官連携科学技術振興事業費が補助金として交付されたことに伴い、予算額に比して決算額が198百万円多額となっています。
- (注2) 国立大学財務・経営センター施設費交付金については、交付額が当初の予定より減少したことに伴い、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。
- (注3) 授業料、入学金及び検定料収入については、当初の見込みより主として在籍者数が多かったことに伴い、予算額に比して決算額が23百万円多額となっています。
- (注4) 雑収入については、学生寮の新規入寮停止により寄宿料収入が減少した一方、資金運用による利息収入や(独)科学技術振興機構による特許出願支援等が当初の予定より多かったこと等に伴い、予算額に比して決算額が9百万円多額となっています。

(注5)産学連携等研究収入及び寄附金収入等については、産学連携等収入が当初の予定より6百万円の増加、寄附金収入等が当初の予定より16百万円減少したことに伴い、予算額に比して決算額が10百万円少額となっています。

(注6)業務費については、教員の退職者が当初の予定より少なかったこと及び業務実施にあたり経費の節減に努めたこと等により、予算額に比して決算額が569百万円少額となっています。

(注7)一般管理費については、職員の退職者が当初の予定より多かったこと等により、予算額に比して決算額が2百万円多額となっています。

(注8)(注2)に示した理由により、予算額に比して決算額が1百万円少額となっています。

(注9)(注1)に示した理由等により、予算額に比して決算額が200百万円多額となっています。

(注10)(注5)に示した理由等により、予算額に比して決算額が7百万円少額となっています。